

# 千葉市の仕事と働く先輩 管理職編



平成3年度 採用  
市民局  
生活文化スポーツ部  
文化振興課  
課長

## ■これまでの経歴※

H3.4月～ 保健所総務課  
H12.4月～ 障害保健福祉課  
H14.4月～ 青葉病院開設準備室  
H15.4月～ 青葉病院事務局総務課  
H19.4月～ 政策調整課  
H25.4月～ 教育委員会事務局企画課  
H28.4月～ 都市アイデンティティ推進室  
H31.4月～ 都市アイデンティティ推進課  
R3.4月～ 国際交流課  
R5.4月～ 文化振興課

## Q. 現在の仕事内容について教えてください。

A. 千葉市の文化行政に携わっています。具体的には、市民の皆様の文化活動支援や障害のある人もない人もともに楽しむ文化イベントの実施などソフト事業を行うほか、市内にある美術館や音楽ホールの管理・運営をしています。

## Q. 仕事をしていく上で意識していることや大切に思っていることを教えてください。

A. 何かを始めるとき、行き詰ったときには、一旦、現在の条件や制約を頭の中で無くして、どうなれば千葉市や市民にとって一番良いのか、そのためには、何が課題で、何をすべきなのかと考えていくようにしています。そう考えていくと答えは、簡単なものである場合がとて多いです。素直に物事を見ること、シンプルな結果であることは誰にとっても受け入れられやすく、長く親しんでいけるものになると感じています。

## Q. 千葉市で働いて良かったと思った経験について教えてください。

A. 実は私は薬剤師免許をもっており、就職をするときに、病院・薬局など医療の道を行くか、製薬会社での研究の道にするのか迷っていましたが、「自分の学んできたような専門分野とその他の分野の懸け橋になろう」と、今思うと赤面するような考えで市役所で働くことにしました。そして現在改めて振り返ると、市役所で働く中で、同僚としてだけではなく、いろいろな立場の人々に出会い、一緒に仕事をすることができたことは、自分にとって大変ありがたく幸せな経験であったと思います。

## Q.一緒に働きたい人物像（部下）について教えてください。

A. 千葉市を良くしたい、市民に喜んでほしいという思いを持った人であれば、どのような年齢や職種、立場の方でも、一緒に働きたいと思います。

## Q. 今まで印象に残っている仕事、経験について教えてください。

A. 市立青葉病院の開設準備に関わることができたことです。病院は病を抱えた人々やそのご家族のための特別な施設です。また、医師や看護師など専門スタッフが働く場でもあります。そのスタッフが、ひたすら患者様のために何が一番良いのかを考えながら、新病院を作り上げていく時間を共有させていただけことは、本当によい経験になりました。開院をしてしばらくして、たまたま自分が入院することになり、隣の病室から「この病院は最高の病院なんだから、しっかり病気を治そうね」とどなたかが家族に話しかけている様子の会話が聞こえてきたときには、スタッフ一人ひとりの顔が思い出されて感動しました。

## Q. 休日の過ごし方について教えてください。

A. 基本的にはインドア派で、家でんびり過ごします。ときどき家族と旅行や食事に行くことが楽しみです。

## 千葉市を受験する皆さんへのメッセージ

公務員になるために一所懸命努力されている皆さんへ、遠回りと思えるような道のりであってもあらゆる経験は、人生の中でいつか生かされるときがくると思います。皆さんが私たちの仲間として一緒に働いてくれることを待っています。

# 行政職のワクを超えて活躍する先輩



行政職

平成19年度 採用

都市局 都市部都心整備課  
主査

## ■これまでの経歴※

H19.4月～ 資源循環推進課  
H21.4月～ ごみ減量推進課  
H21.7月～ 中央区社会援護第二課  
H25.4月～ 千葉都心整備室  
H26.4月～ まちづくり推進課  
H28.4月～ 都心整備課

## Q. 現在の仕事内容について教えてください。

A. 千葉駅西口駅前や「裏チバ」と呼ばれる千葉駅西側エリアを舞台に、まちの人たちと共に「自分ごと」として魅力づくりや課題解決に取り組む「※リノベーションまちづくり」に取り組んでいます。※リノベーションまちづくりについては P07 で紹介しています。

## Q. 現在の仕事をするようになったきっかけを教えてください。

A. 千葉駅西口で再開発ビルが完成した際、新たに動き出した西口のまち、そこで暮らしを営む方たちとご一緒にさせていただいたことがキッカケです。その中で、まちの方たちの「リアルな息遣い」と「都市の経営課題」を体感し、「生活者視点を持つ行政」が必要と実感しました。これからのまちづくりは、ハード整備やイベント開催がゴールではなく、既にあるまちの資源を活かして、地域の方たちと共に歩んでいくことが重要です。人々との出会い・繋ぎ・共にリアルなまちの動きをつくっていくことは、これまでの行政の働き方、職種にはないものでやりがいを感じています。

## Q. 今までの経験を通じて学んだことを教えてください。

A. まちの魅力や、まちを楽しむ自ら動く人、課題を解決しようとする人とは、PCの前ではめぐり逢えません。普段の暮らしの場面も含めて、「まちにダイブ」すること、そして、「営業」が全ての起点になると思います。行政職員である前に、生活者としての視点を持って、暮らしやまちを楽しむこと、そして小さくても「まずやってみる」ことが大事ですね。

## 千葉市を受験する皆さんへのメッセージ

行政の仕事は、与えられた枠の中でするものではなく、時代にに合わせて柔軟に変わり得るクリエイティブなものです。そのためには、まず自分の中の「芯」が大事です。芯を持って、職種に関係なく新しいことに取り組むことを当たり前に、そして「まちにダイブ」することを楽しんでください!一緒に新しいことに取り組んでいきましょう!

# 畜産職のワクを超えて活躍する先輩



畜産職

平成29年度 採用

都市局  
公園緑地部公園管理課  
主任技師

## ■これまでの経歴※

H29.10月～ 動物公園  
R元.4月～ 海辺活性化推進課  
R4.4月～ 国土交通省 公園緑地・景観課（緑政課付派遣）  
R5.4月～ 公園管理課

## Q. 現在の仕事内容について教えてください。

A. 現在は、公園管理課の指定管理班に所属し、稲毛海浜公園・亥鼻公園における事業者との調整や公園魅力向上計画策定業務などを行っています。以前所属していた海辺活性化推進課では、千葉みなとの地域活性化事業・千葉市のまちづくりに携わり、広報PRやイベント企画、新規事業提案などを行いました。また、派遣先の国土交通省では、国の施策であるグリーンインフラや生物多様性国家戦略、他にも、都市緑化フェアや2027年国際園芸博覧会などの国の行事における調整業務等を行いました。

## Q. 現在の仕事をするようになったきっかけを教えてください。

A. 入庁して最初の配属先である動物公園では、サル類・バードホール・夜行性動物などの飼育担当でした。当時莫然と、いつか本庁での仕事もしてみたいと思っていたところ、3年目で本庁内の海辺活性化推進課に異動となりました。異動直後は、慣れない事務作業等に戸惑いましたが、千葉みなとの地域活性化事業に携わりながら、庁内外の多くの方と繋がり、職種を越えて様々な仕事に携わることに魅力を感じるようになりました。その後、国土交通省への派遣の話をいただき、前述の国の施策に1年間携わることで、さらに視野が広がりました。

## Q. 今までの経験を通じて学んだことを教えてください。

A. 「人との繋がりの大切さ」です。職種を越えて様々な部署で業務に携わる中で、庁内外で多くの方と関わることができました。そこから、さらに別の人と繋がり、自分の人脈がどんどん広がり、新たな事業や既存の取り組みが生まれました。もちろん、経験により業務に対する知識も積み上げられましたが、何より人との繋がりが、個人の力では難しいことも可能にし得ることを学び、実感しました。

## 千葉市を受験する皆さんへのメッセージ

千葉市は、その大きな組織体系を活かして、畜産職であっても様々な部署を経験し、自分の可能性を広げることができます!是非、一緒に千葉市を盛り上げていきましょう!

※「これまでの経歴」は、課名変更等している場合があります。